

答ヲ待テ之ヲ處分スルヲ例トス

〔京都〕本條ノ場合ニ臨ム時ハ其海陸間屋ニ預リ置キ荷

主ヘ通知スルヲ例トス又買主ヨリモ其旨ヲ掛合フ

ヘシ

附 錄

〔大阪〕

商事慣習問目外ノ條件

株仲間ノ事

一大阪商業仲間ノ組合ハ往昔ニアリテハ其同業者互ニ便  
 利ヲ通シ營業上不檢束ノ事ナカラシムヲ欲スルヨリ生シ  
 タルモノニシテ當初ハ只タ其仲間ヲ結ビ規則等ヲ設ケタ  
 ルモノナリシカ爾後世態ノ改進シテ商業年ニ繁盛ヲ加フ  
 ルニ及ヒ隨テ商賈經營ノ上ニ於ケルモ往々點知ノ所爲ア  
 リ稍ヤク私約ノ規則ニ依リ仲間組合ヲ保ツ能ハサルノ場

合トナリシヲ以テ明和年度ニ至テ諸商業者漸次ニ其營業ヲ以テ株ト爲サンコトヲ官ニ請ヒ其許可ヲ得此ニ於テ株仲間ノ制初メテ立タリ

一株仲間ノ制タル諸種ノ商業各其別アリト雖モ主要ノ趣意ハ其同業ノ人員ヲ限り申合セノ條目ヲ定メ株札ヲ受ケ仲間ニ因リテハ年々若干ノ冥加金無代物等ヲ官ニ納メ仲間ノ事務ハ年行司ヲ置キテ辨理セシメ苟クモ仲間ノ申合ニ違背スルモノハ直ニ之ヲ譴責シ新ニ株仲間ニ加入セントスル者アルモ品行其他ノ事ニ於テ株仲間同業者ノ許諾ヲ得サレハ決シテ加入スル能ハス若シ又此株仲間外ニ在

リテ商業ヲ營ムモノアレハ株仲間ハ直ニ之ヲ官ニ訴ヘ官ハ嚴重ニ當人ヲ所置シタルモノナリ而カシテ當時株仲間ノ數ハ凡ソ九十八種ナリキ

一株仲間ノ制タル前項ノ如ク其同業者ノ人員ヲ限り他人自由ニ之ニ加入シテ其商業ヲ營ミ得サリシカ如キハ今日ヨリ反省スレハ頗ル束縛ノ所爲ニシテ或ハ營業者カ專賣ノ利ヲ占メントスル心意ヨリ出テタル者ノ如キ跡ナキニアラスト雖モ因テ以テ大坂商業上ノ信用ヲ固メ便利ヲ加ヘ各地ノ物産ヲ招集シ商事ノ繁盛ヲ致シタルハ亦タ觀ルヘキモノアリ而シテ舊政府ハ天保十二年ニ及ンテ諸物價ノ

騰貴ヲ憂ヘ之ヲ低落セシメンカ爲メ諸株仲間ヲ廢シ其冥加金ヲ止メ隨意ニ營業ヲサシメタルモ以來商法崩壞シ物價ハ敢テ低落セス却テ不融通トナリシヲ以テ嘉永四年更ニ令シテ諸仲間舊ニ復シタリ但タ此ノ時ニ於テ冥加金ヲ收メス又タ所謂株仲間ノ人員ヲ限ルコトヲ停メ大ニ改良アリタリ今左ニ其諸仲間再興ニ就キ當時ノ布令文ヲ掲ク

三郷年番町々年寄共

去ル寅年株札並問屋仲間組合等停止是迄納來候冥加金上納ハ勿論無代納物無賃人足駄付其外冥加勤ノ類モ悉ク免除被仰付候處其以來商法相崩レ諸品下直ニモ不相成却テ

不融通ノ趣相聞候付此度問屋組合ノ義都テ前々ノ通再興申渡彌以冥加金御上納ノ義ハ不被及御沙汰候間其旨ヲ存諸物價際立直段引下ケメ賣メ買ハ不及申品劣リ掛目減シ等之義無之一切正路ニ賣買可致候且前々諸職人諸商人仲間組合取極候度每新規仲間加入ノ者有之候共差障リ申間敷候ハ勿論其者共ヨリ多分ノ禮金振舞等爲致候義ハ不相成旨其外取締方ノ義追々申渡有之義ニテ新規ニ商賣相初候義ヲ差構無之筈ニ候間此度問屋組合再興申付候迪前々ノ如ク株札等相渡候義ニハ無之人數ノ増減ハ勝手次第ノ事ニ付不筋ノ申合手狹窮屈ノ自法相立候義ハ決テ不可致

然シ其渡世柄ニヨリ無據人數不定候テハ差支候義有之品  
 ハ吟味ノ上明白ニ其謂無之候テハ容易ニ難聞届義ニ付其  
 段相心得是迄ノ商法ニ不流質素儉約ヲ第一ニ致諸事奢侈  
 僭上ノ義無之様相慎深ク太平ノ御仁德ヲ奉仰分々ノ渡世  
 永續致銘々安住ノ冥加ヲ辨ヘ四民暮シ方辨利ノ義ヲ厚ク  
 心懸實直ニ産業ヲ營ミ候様可致此上心得違一己ノ利得ニ  
 迷ヒ申渡ヲ不相用者有之候ハ、早速召捕遂吟味嚴重ノ御  
 仕置申付此義ニヨリ家業取放候間聊不取締ノ義無之様精  
 々厚可申合候右之通申渡候付而ハ間屋組合共都テ前々ニ  
 不拘現在ノ姿ヲ以テ紛敷義無之様厚ク取調其町々年寄共

ヨリ來月中諸色取締懸總年寄へ可申立其上得ト遂穿鑿亦  
 々可及沙汰間夫迄ノ所ハ諸商人諸職人共全當時ノ振合ニ  
 相心得罷在右申渡以前家業筋ニ付何事モ訴訟申出候義不  
 相成候若シ心得違及出訴候者有之候ハ、町役人共迄可爲  
 曲事（外ニケ  
 條略ス）

右之通申渡候間夫々組合町々並諸職人諸商人共へ不洩様  
 能々可申通候

右之通被仰渡候趣町々不洩様早々可有違方候

嘉永四亥年三月廿一日 惣 年 寄

去ル丑年中諸間屋組合停止被仰出候處其以來間屋組合商

法取締相崩諸色下直ニモ不相成却テ不融通ノ趣モ相聞候  
付此度問屋組合之義都テ文化以前之通り再興可被申付候  
左候迪元十組ノ者共冥加金上納等ノ御沙汰ハ彌以無之候  
間文化以來ノ商法ニ不流諸商人共物價引下ケ方ノ義厚心  
懸ケ實意ニ渡世相營候様得ト申諭取締方等精々可被申渡  
候

三月

右之通町奉行へ申渡候間向々へ可被相觸候

右之趣於江戸表同所町奉行へ被仰渡候段被仰下候條此旨  
三郷町中可觸之者也

嘉永四亥年三月廿五日

加 賀

日 向

一右布令ノ後同年七月同町奉行ヨリ大阪諸商人諸職人ニ  
對シ更ニ同趣意ヲ以テ諸問屋組合トモ總テ前々ノ通再  
興申渡シタル旨布令アリタリ

一諸仲間右ノ如ク再興シタルヲ以テ維新ノ際マテ大阪ノ  
商業ハ往時ニ復シテ其習慣ヲ持續シタリ

### 手形流通ノ事

大阪ノ兩替屋ハ古昔天王寺屋五兵衛カ爲シ始メシ所ニシテ手形ノ振出モ亦此際ヨリ之ヲ行ヒ大ニ商人ニ便利ヲ與エタリ當時大阪府下ニ兩替商ハ五兵衛只一人ナリシカ次テ小橋屋淨徳鍵屋六兵衛ノ二人ヲ増シ手形ノ流通漸ク開ケ其後寛文ノ初メ町奉行(東)石丸石見守頗ル市政ニ意ヲ用ヒ大阪諸商業ニ成規ヲ立テ仲間ノ信用ヲ擴充シ旅商ノ爲ニ問屋ヲ設ケ金融ハ十人兩替ヲ置キテ流通ヲ便ニス蓋シ金相場所ノ創立モ亦此時ニ濫觴ス而カシテ十人兩替ニハ帶刀ヲ許シ町入費ヲ免シ之ヲ行司トナシ其下ニ北濱組梶

木町組等二十二組ニ分レ許多ノ中小兩替アリテ各互ニ連絡シテ以テ其大綱ヲ十人兩替ニ結ヒ順環轉輾シテ大ニ手形ノ流通ヲ盛ニシ金融ヲ圓滑ナラシメタリ今其梗概ヲ左ニ布陳ス

手形ノ種類

第一 爲替手形

請取申爲替金之事

但有合金

割印

合金<sup>印</sup>

兩也

右ハ當地何某ヨリ下シ金爲替致慥ニ請取申候

此代リ金於江戸何月幾日限(或ハ參着)右同人差圖ノ方ヘ日限無相違御渡可被成候爲後日爲替手形仍テ如件

年月日

何屋

某<sup>印</sup>

何屋

某殿

右ハ江戸爲替手形ノ雛形ニテ「何屋某」ハ大阪兩替屋振出シ印元ニテ「何屋某殿」ハ江戸兩替屋即チ仕拂人ナリ

第二 預リ手形 目今銀行振出シ手形

覺

但有合金

割印

一金<sup>印</sup>

兩也

右之通憶ニ請取申候此手形ヲ以テ相渡可申候  
以上

年月日

何屋

某殿

何屋

某<sup>印</sup>

右ハ兩替屋ヨリ預ケ人ニ差出シタルモノニテ名宛人ハ勿  
論其他誰ニテモ持參人ニ仕拂フベキ手形ナリ但シ甲乙丙  
ト流通中其兩替屋破産スル等ノ事アリテ不渡トナル時ハ  
其手形ノ所持人ノ損失トナリテ甲乙ハ之ニ關セズ

第三 振出手形 (目今ノ小切手)

覺

割印

一金<sup>印</sup>

兩也

何屋某殿エ

右之通憶ニ請取此手形ヲ以テ御渡可被成候以  
上

年月日

何屋

某殿

何

某<sup>印</sup>

右ハ素人ノ兩替屋ト取引アル者ヨリ兩替屋ニ宛テ振出し



又ハ甲兩替屋ヨリ乙兩替屋へ宛振出ス手形ニシテ何屋某  
 殿トアルハ妻書ト唱へ素人ノ印元ヨリ渡シ先キノ人ヲ記  
 入セシ者ナリ此手形ヲ兩替屋へ持參スルキハ印元兩替屋  
 へ預ケ込ミアレハ異議ナク渡スヘシト雖モ若シ預ケ込ミ  
 ナキキハ不渡トナル旨ヲ以テ對フ但シ預込金ナク共兩替  
 ニ於テ其手形振出人ト振出ノ過量ヲ負擔スル約アル者ハ  
 此限ニアラス通常之ヲ通ヒ尻何程ハ請合シトノ約束アル  
 者トス此振出手形甲ヨリ乙ニ渡リ乙ヨリ丙丁ニ渡テ後終  
 ニ不渡トナル時ハ丁ハ丙ニ返シ丙ハ乙ニ返シ乙ハ甲ニ返  
 シ甲ト印元トノ關係トナルコナリ然モ振出手形甲乙丙丁

ニ渡リ丁ヨリ兩替屋ニ取付ケシ時印元ノ入金ナクメ不渡  
 リトナレハ乃前陳ノ如ク丁丙乙甲ト逆ニ戻ルヘシト雖既  
 ニ印元ヨリハ確ニ入金有ニ兩替ニ於テ之ヲ拂能ハサルキ  
 ハ其手形ノ所有人ノ損失トナル也又印元ヨリ振出タル手  
 形ヲ以テ日限内ニ取付ケタルモ尙ホ不渡トナリキハ其責  
 印元ニ在若シ日限ヲ過テ取付不渡トナリシ者ハ其日限ヲ  
 遷延シタルノ怠リアレハ乃テ其所持人ノ損失トナル者也

#### 第四 振差紙

覺

一銀何貫目也

右此何某殿エ御渡可被下候以上

年月日

何 某

何某殿

右ハ兩替屋ノミ通用スル手形ニシテ此何某殿エトアルハ  
兩替屋ノ内受取人ヲ記入シ何某ハ兩替屋ノ本名ヲ用ヒス  
同店支配人ハ名ヲ記シ何某殿ト宛ツルモ振り先キノ支配  
人ノ名前ニ宛ツル法ナリ又振出人ハ無印ニテ只御渡ノ處  
へ振出シタル兩替屋ノ大印ヲ押ス但シ判鑑帳ナルモノナ  
各目ニ備エ置キ見合スルモノトス此手形ハ其日限り夜九  
ツ時迄ニ双方差引決算スルモノナリ假令此手形ヲ以テ正

金ヲ請取ラントスルモノアリトモ振出シ先ニテハ正金ニ  
ナラス必ス印元ニ立戻ラサレハ正金ヲ得ル能ハサルノ習  
慣ナリ

兩替屋タルモノハ親兩替ト唱へ一ノ大兩替屋ヲ機軸トシ  
テ中兩替小兩替ノ數店之ト連絡シ互ニ取引ヲ爲スモノナ  
リ小兩換ノ甲ハ己レヨリ少ク大ナル乙兩換ニ依リ乙ハ又  
少ク大ナル丙兩換ニ依ル丙ハ又丁ニ依ルカ如ク最少ナル  
モノヨリ最大ナルモノニ至ルマテ各自互ニ約定ヲ結ビ銀  
何十貫目ノ額マテハ手形振出ノ過量ヲ負擔スヘシト約束  
セシモノナリ

第五 大手形

五百四十八

大手形ト唱フルモ別ニ大手形ナルモノアルニアラス節季ニ際シ甲商人乙商人ヨリ請取ヘキ勘定アリト雖モ未タ其拂金ヲ取得セサルニ又丙商人ニ拂ハサルヲ得サル勘定アリ斯カルトキハ甲商ハ乙商ノ入金ヲ目的トナシ己ノ取引アル兩換屋宛ノ手形ヲ作り之ヲ丙商ノ勘定ニ渡ス丙又之ヲ自身取引アル兩替屋ニ振込メハ兩替モ異議ナク之ヲ取メテ丙商ノ入金ト同視ス此取引ヲ大手形ト云ナリ而シテ從來慣習トシ節季ヨリ一日二日ヲ休業シ第三日目ニ至リテ甲ノ兩替屋ト乙ノ兩替屋トノ間ニ於テ手形ノ差引ヲ爲ス

又甲商ハ其一日二日休業ノ間ニ乙商ヨリ現金ヲ請取之ヲ自己ノ振先ナル兩替屋ニ振込ム故ニ第三日目兩替屋同士ノ差引勘定ニ至リテ毫モ不都合アルコトナシ必竟大手形ト唱フルモノハ節季勘定ノ取引ヲ翌月三日ニ廻スモノナクナリ聞ク此法ノ行レシキハ府下一般節季ノ融通ヲ便利ニセリト又大手形ノ勘定ニ於テ若シ甲商ノ振出シタル手形不渡トナルトキハ妻書ノ順ヲ追ヒ甲兩替屋ハ乙兩替屋ニ返シ乙兩替屋ハ丙商ニ返ス然ルトキハ丙商ト甲商ト直接ノ關係トナリ兩換仲間ニ於テハ毫モ其損失ヲ負フコトナカリシナリ

第六 延手形

此手形ノ性質ヲ二種ニ分ツ其一ハ貨物ヲ買ヒ其代銀ヲ此月三十日限ニ拂フヘキ約定ヲ爲セシキ其當日ニ拂ヒ渡ス可キ手形ヲ兩替屋宛ニ認メ之ヲ貨物主ニ渡スモノナリ又其一ハ貨物ヲ買ヒ其代金ヲ來ル何月何日ニ此手形ヲ引替可相渡云々ノ手形ヲ認メ貨物主ニ與フルモノナリ而シテ此兩種ノ手形甲ヨリ乙ニ渡リシキ乙ハ振先又ハ印元ニ到リ其期日ニ拂フヤ否ヲ照會スルヲ習慣トス

第七 藏預リ切手

右切手ハ各種ノ貨物ニ就キ振出セシモノナレモ其最モ多

ク最能ク流通セシハ砂糖米ノ二品ナリ今其雛形ヲ左ニ掲ク

何日札

何千何百何十挺株

一大島 十挺

何組

右代銀受取濟定日限過候ハ、反古可爲水火之難不存候也

年月日

薩摩藏會所印

高何千何俵之内  
一何年米 何十俵

何月何日落札  
何 某買

右可相渡候尤水火難ハ不存候也

番號

年月日

何州藏印

砂糖預リ切手ノ定日限トハ三年三ヶ月ヲ云ヒ何組トアル  
 ハ砂糖仲買七組ニ分レ其組合ニテ入札セシカ故ナリ若シ  
 代金不納(代金ハ落札ノ日ヨリ三十日限リ皆納スル定規ナ  
 リ)其他ノ故障アリトモ組合連名ノ者一同ニ其責ヲ負フ  
 トス又切手ノ裏面ニハ藩邸ノ見分役藏方ノ吏員二人記名  
 調印ス而カシテ水火難ノ受合ハナキモ此難事ハ實際ニ有  
 ルヲナキモノナレハ切手ノ流通ハ頗ル宜シクシテ殊ニ藏

敷料等ヲ要セサルヲ以テ長キハ定日限迄藏出セサルモノ  
 アリ土州黑砂糖ハ仲買人銘々ノ入札ナレハ其落札ノ本人  
 ナ妻書ニ記ス其文体ニ至テハ薩州ニ變リシヲナシ  
 米預リ切手モ同シク諸候ノ藏所ヨリ出スモノニテ入札賣  
 ニ掛ケ落札トナリタル上ハ即日ニ手附金ヲ入レ十日目ニ  
 皆金シ其預リ期限ハ一ケ年ナリ而カシテ是亦水火難ノ受  
 合ハナキモ實際其事アラスシテ又普通定量外ノ減耗ハ藏  
 所ニテ之ヲ辨スルカ如キアリテ信用厚ク流通宜シカリシ  
 モノナリ

又々當時舊政府カ前段ノ手形通用ニ就テハ其權利者ニ特

別ノ保護ヲ與ヘ就中兩替屋ニシテ不渡ヲ爲ス等ノコアル  
 キハ忽チ吟味中手錠ヲ掛クルカ如キ嚴重ノ取扱ヒヲナシ  
 タルヲ以テ自ラ其濟方モ遲滯スルコトナク手形流通上ニ大  
 ニ信用ヲ及ホシタリ

### 延賣買ノ事

凡ソ我カ大阪ニ於テハ商業ノ種類取引ノ大小ニ拘ラス延  
 賣買ヲ爲サ、ルモノナシ否爲サ、レハ能ハサルナリ獨リ  
 代金ノ期日ヲ定メ物品代金共ニ期限ヲ約シテ延賣買ナス  
 ノミナラス價格昇降ノ劇シキ商業ニ於テハ將來ノ機ヲ量  
 リ未タ物品吾カ手ニ在ラサルモ豫シメ期ヲ定メテ之ヲ延  
 賣シ未タ代金吾カ手ニ在ラサルモ之ヲ延買スル如キハ活  
 潑ナル商業者ニシテハ之カ常タル所ニシテ唯米相場油相  
 場ノミナラス藥種、綿、砂糖、肥料、鐵、木綿、雜穀、紙、蠟、鹽等著名ナ  
 ル商業仲間ハ或ハ數人集リテ之ヲ爲シ又ハ彼我之ヲナシ

甲乙丙丁輾轉賣買シテ而カシテ其限日ニ至リ最初ノ賣主ト最後ノ買主ト物品代金ヲ受授シ此取引ヲ結了スルハ比々皆然リ而シ此延賣買ノ爲メ紛議ヲ生スルハ甚々稀レナリ其所以ハ各商業仲間ハ自ラ其仲間ニ信義ノ存スルモノアツテ若シ延賣買ヲ違約スルカ如キアラハ其仲間ニ於テ信用ヲ失シ已后此活潑便利ナル延賣買ヲナサントスルモ敢テ應スルモノナキニ到レハナリ

### 難破船處置ノ事

大阪ノ商業上ニ於テハ輸入ノ物貨ハ皆其荷主ノ積來ル所ナレハ此難破船ニ關スル事項ハ大阪ヨリ各地ニ供給スル物貨即チ輸送品ニ於テ之レアルモノニテ又其物貨ヲ各地ニ輸送スルハ古來九州ニ中國ニ北陸ニ東海ニ凡ソ全國航路ノ通セサル所ナシト雖モ就中東京(當時江戶)ハ嘗ツテ大阪ヨリ物貨ヲ輸送スル大需用ノ地ニシテ最モ運搬ノ重要ナルモノナレハ今此ニハ江戶積運搬ノ上ニ就テ其節用ナル所ヲ舉ク而カシテ他ノ各地運搬ノ事ニ至リテハ定マレル慣例ト稱スヘキモノナシト雖モ亦タ畧ホ江戶積ノ狀態

ニ類シ大ニナル經底ハ之レナキナリ  
 一大阪商人ノ物貨ヲ江戸ニ輸送スルニ就テハ昔時菱垣廻  
 船問屋ナルモノアリテ專ラ其運送ヲ司リ又之カ定レル荷  
 主ハ二十四組ト稱セルモノニシテ此二十四組ハ各種商業  
 者ノ中常ニ江戸ニ需用スル物貨ノ積送リヲナスカ爲ニ漸  
 次組合ヲ立テ終ニ此ノ稱アルニ至リシナリ然ルニ天保度  
 ニ及ヒ其商品中最モ重要ナル物貨即チ綿、油、紙、木綿、藥種、砂  
 糖、鉄、蠟、鯨節(但今日ハ荒物ヲ加ヘテ十種トセリ)ノ九種商業  
 者組合ヒヲナシ之ヲ九店ト稱シ航海上ノ事ハ廻船問屋ニ  
 委托シ江戸積航運ノ利便ヲ擴張シ此ニ於テ所謂二十四組

ノ輸送ヲ併セテ之ヲ引受ケ專ハラ大坂ヨリ江戸へ物貨ヲ  
 輸送スル事ヲ營メリ故ニ今此ノ九店ニ於ケル難破船處置  
 ノ習慣ヲ左ニ掲ク

一 航海中難波ノ變アレハ遠州今切ヲ以テ境界トシ其以東  
 ナルキハ東京九店ヨリ以西ナルキハ大坂同店ヨリ出張  
 シテ浦仕舞ヲナスノ習慣ナリ

一 難破ノ報其沿海地方ヨリ達スレハ九店ハ先ツ此事ヲ荷  
 主ニ報スルト同時ニ其物貨ノ元價ヲ書出サシメ尙ホ浦  
 仕舞ヲ委任スル旨ノ證印ヲ取りテ九店中當番ノ仲間ヨ  
 リ難破ノ地方ニ出張ス



一難破ノ地方ニ出張スレハ實際精荷<sup>キ</sup>損傷ナキ物貨ト濡レ荷トヲ分別シ然ル上流失荷及ヒ船ノ損傷修覆金及ヒ浦仕舞入費船頭ノ合力等一切難破ノタメニ生セル費用ヲ計算シ之レヲ積荷及ヒ船ノ價值トニ割當テ分擔支辨スルナリ又荷打ヲ爲シタル時ニ於テモ其打捨テタル物貨ノ損失ハ全船ニ搭載セル物貨ノ元價ニ應シ其各荷主ニ分擔スルナリ

一右精荷ハ時ノ便宜ニ因リ之ヲ東京ニ積送リ或ハ大阪ニ積返シ濡荷ハ大阪部内ノ難破ナレハ大阪ニ江戸部内ナレハ江戸ニ引取り入扎拂トナシ之ヲ積荷ノ元價ニ應シ

分配ス若シ又濡荷ノ形狀ニ因リ大阪江戸何レカ運搬スルニ堪ヘサルモノハ難破ノ地方ニテ入扎拂トス

一大難破ニシテ船体物貨共ニ失亡シ讒カニ其水夫ノ命ヲ免カレタル如キハ其沿海地方浦證文ニ據リ敢テ出張スルコトヲセスト雖モ若シ船体ノ幾分ヲ存スルコトアレハ出張セサルヲ得ス

一難風ニ遭ヒ荷打ヲナセハ其沿海地方ノ浦證文ヲ要スルハ勿論嚴密ニ之カ監査ヲ遂クルナリ

一難破船ヨリ生スル物貨損失ノ負擔ハ左ノ如シ

木綿商 油商 綿商

此三商業ハ東京問屋ノ注文ニヨリテ輸送シタルモノハ東京問屋之ヲ負擔シ自己ノ見込ヲ以テセシモノハ勿論自己之ヲ負擔ス

## 蠟商

此商業ハ一定セサレモ多ク前項ニ同シ

## 砂糖商

紙商

藥種商

此三商業ハ往昔ニ在リテハ注文ト見込積トニ拘ハラズ東京問屋ノ負擔スル所ナリシカ二十四五年前ヨリ彼我折半シテ之ヲ負擔スルトナレリ

## 經節商

此ノ商業ハ嘗ツテ見込輸送ノミナレモ他商ニ異ナリ東京ノ問屋ニ於テ荷主ノ受取ルヘキ代價中ヨリ五分ノ口錢ヲ取ムルカ故ニ若シ難破ニ遭ヘハ彼レニテ其半ヲ負擔シ即チ折半分擔ナリ

## 鐵商

此ノ商業ハ注文ニ因リテ輸送セルモノハ東京問屋ト荷主ト分擔シ見込積ハ荷主之レヲ負擔ス

○雇人ノ事

一抑モ雇人ハ其商業ト自家ノ風義ニヨリ各異ナルト雖モ其年期雇ト否ラサルトナ問ス商家ノ雇人ヲ分テ三等トス曰ク丁稚曰ク手代曰ク番頭是レナリ

丁稚ハ年齢十歳以上ニシテ十七歳或ハ十九歳マテ前髪ナルモノヲ云ヒ手代ハ元服ナシテ商業ニ従事ナスヲ云ヒ番頭ハ乃チ一家ノ支配人ヲ云フ

抑モ商家雇人ノ義ハ十歳前後ヨリメ衣食ハ素ヨリ算筆等ノ教育ニ至ルマテ皆雇主ノ手ニ成リ漸次商業ヲ練習セシメ(之ヲ子蓄<sup>コカ</sup>ヒト云フ)壯年ニ至リテハ家屋諸什器及

ヒ資本金迄都テ雇主之ヲ分與シ妻女ヲ迎ヘシメ又其家號ヲ稱スルヲ許ス(之ヲ暖簾ヲ分クルト云フ)等殆ント君臣ノ分アルモノナリ故ニ雇人ハ幼少ヨリ教育ノ恩アルノミナラス後來資本ヲ受ケ獨立メ一家ヲナサントノ望アルカ故ニ平常勤務ヲ勉勵シ又雇主ニ在リテハ平常ノ勤務ニヨリ別家ヲサシムルハ自家一臂ノ力ヲ得ルモノニシテ又別家ノ數ニヨリ商業上ノ信用ニ關スルコト少小ナラス

雇人ヲ別家ヲサシムルハ商業ニヨリ或ハ各自ノ家風ニヨリ其年限ニ遲速アリト雖モ概テ十ヶ年以上二十ヶ年

内外勤務セシモノニ限り宿<sup>ヤフ</sup>這<sup>ヒ</sup>入<sup>リ</sup>ト唱ヘ先ツ一家ヲ與ヘ妻女ヲ迎ヘシメ尙ホ三ヶ年或ハ五ヶ年間通勤セシメ然ル後資本ヲ與ヘ株仲間加入ノ紹介ヲナシ得意先キヲ分ナテ獨立ノ商業ヲ營マシム故ニ嚴格ナル家風或ハ仲間ニテハ中年ト唱ヘ二十歳前後ニシテ雇入レタルモノハ別家ヲ許サス或ハ仲間加入ヲ許サ、ル者アリ間々其精勤ニ因リテハ幼少ヨリ雇入レタル如ク別家ヲ許スモノアリト雖モ多クハ他家或ハ別家中ニ婿或ハ養子トナサシムルモノナリ又始メ丁稚ニ雇入ル、際一家ノ長男及ヒ相續人ハ雇入レテナサス何トナレハ幼少ヨリ之ヲ

教育シテ商業ヲ練習セシメ後年ニ至リ別家トナシ我カ  
 柱石ト頼ムヘキモノ漸ヤク商業ニ練習シ我便益トナラ  
 ントスルニ當リ其家名相續等ノ故ヲ以テ解雇ヲ乞フニ  
 至リテハ其年期雇ニ非ラサルヨリハ雇主ニ於テ之ヲ拒  
 ムヲ得ス終ニ數年ノ教育モ徒勞ニ屬スレハナリ  
 雇主雇人間ノ情義ハ主人奉公人ト稱シ世々君臣ノ分ヲ  
 守ルモノニテ若シ雇人不正ノ處行アルキハ或ハ之レニ  
 謹慎ヲ命シ或ハ等級ヲ降シ又ハ別家ノ期ヲ延シ最モ重  
 キハ所有品ヲ雇主ニ沒收シ放逐ナスノ慣習ナリ故ニ雇  
 人ニシテ放逐セラレ、カ或ハ主家ノ許諾ヲ得ス擅ニ去

ルモノハ雇主ハ各取引先ニ其旨ヲ通スルカ故ニ獨立ノ商  
 業ヲ營ントスルモ得ス況ンヤ株仲間ニ於テハ之カ加入ヲ  
 許サ、ルナリ凡ソ商家ニ於テハ資本ノ厚薄及ヒ其運轉得  
 意先買先ノ駈引地方需用ノ嗜好等自ラ秘スル處ノ方術ア  
 ルモノナレハ之ニ通曉シタル雇人ニシテ雇主ニ不滿アル  
 カ或ハ眼前ノ少利ニ眩惑シ若シクハ他人ノ誘道ニヨリ甲  
 雇主ヲ去リ乙雇主ニ就キ甲家ノ秘ヲ洩シ或ハ甲家ノ得意  
 先ヲ競取スルカ如キハ幼少ヨリ受ケタル教育ノ恩惠情義  
 ニ悖ルノミナラス甲雇主ノ損害ヲ蒙ルヤ少小ナラス而シ  
 テ又乙家ヲ去リ丙家ニ涉リ各其雇主ニ害ヲ與フルニ至リ

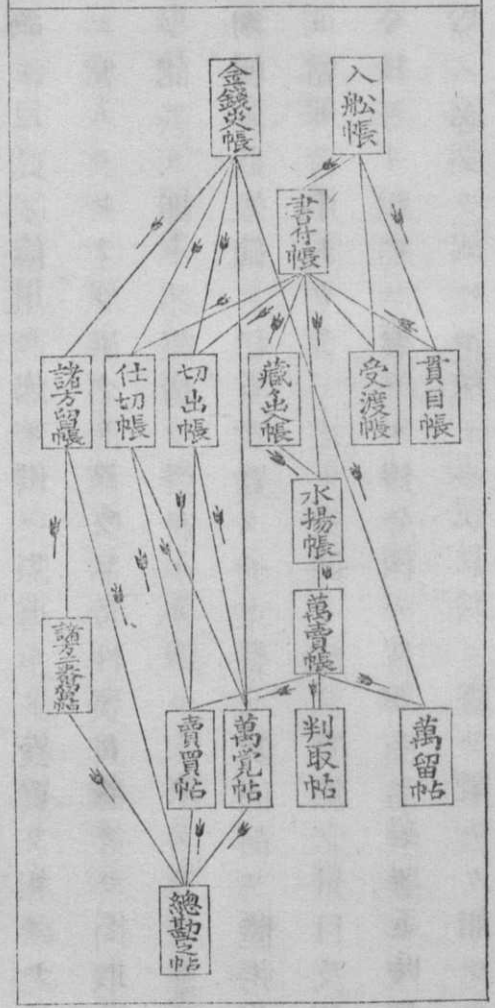
テハ終ニ自己ノ信用ヲ失シ倒レテ止ムノ外ナキモノナレ  
 ハ若シ雇人ニシテ雇主ヨリ放逐セラル、カ若クハ不止得  
 ナノ事故ナリ、雇主ノ承諾ヲ得スシテ擅ニ主家ヲ去ルモノ  
 ハ之カ同業者ニ於テ此者ヲ雇入ル、事ヲ禁スルハ概子商  
 業仲間一般ノ慣習ナリ  
 以上今日ヨリ顧レハ或ハ束縛ニ涉ルカ如シト雖モ近時漸  
 ク人心ノ澆季ニ流レ輕躁浮薄彼我共ニ害ヲ蒙ルカ如キニ  
 比スレハ亦觀ルヘキモノナシトセサルナリ

〔兵庫〕

廿三番〔花風〕

○問屋帳簿ノ事

問屋帳簿轉記連絡之圖



一 入船帳 此帳簿ハ商船着港ノ際荷主ト賣買ノ相談ヲ爲スニ當リ其荷主ノ姓名商品ノ品位性質員數等ヲ聞取り之ヲ記載ス即チ諸帳簿ノ受付ナリ

一 書附帳 此帳簿ハ已ニ賣買ノ約束整ヒ其商品ヲ陸揚スルニ當リ荷主ト立會ヒ之カ檢閲ヲ爲シ實際ノ量目及品位、等級、等ヲ詳細ニ登錄ス假令預リ置ク商品ト雖モ陸揚ノ際ハ必ス之ヲ詳記スルモノトス

一 仕切帳 前顯ノ如ク荷主ト立會ヒニテ檢閲シタル商品ノ量目、品位、等級ニ隨ヒ約束ノ直段ヲ附シ其代金ヲ拂渡シタル仕切狀(勘定書)ノ控ヲ爲シ置クノ帳簿ナリ

一 一切出帳 此帳簿ニハ切出シト稱シ荷主或ハ船主ヨリ船夫給與ニ充ツル分ヲ別途ニ勘定シテ相渡スモノヲ記スルナリ仕切狀ト混雜ナカラシメンカ爲メ別ニ此帳簿ヲ設ク

一 藏々出入帳 此帳簿ノ用方ハ貨物ノ出入ヲ明記スルニアリ何時ニテモ藏ナル現品有高ヲ容易ニ知り得ンヲナ期スル爲メナリ

一 水揚帳 此帳簿ハ藏入レシタル貨物ノ量目品位等書附帳藏々出入帳ニ細記シアルト雖モ日數ヲ經テ之ヲ賣買スルキハ多少其品位ヲ變シ又ハ量目ノ差違ヲ生スルモ

ノナリ故ニ其賣買スルキ仲買人ト荷主ト立會セ再ビ量  
目品位等ヲ調査シテ之ヲ細記ス

一 萬賣帳 此帳簿ハ日々ノ賣上品箇數量目直段及買主姓  
名代金受取期日等ヲ詳記ス

一 判取帳 此帳簿ノ用ハ賣渡タル品名箇數及代金授受ノ  
期日等ヲ記シ買主ニ調印セシム其代金授受シタルキ消  
印ヲ爲サシムルナリ若シ違約スルキハ其調印ヲ以テ裁  
判上ノ證據トナスノ帳簿ナリ

一 萬留帳 此帳簿ハ兼テ取引ヲ爲ス各仲買人一名毎ニ別  
部ヲ設ケ萬賣帳ヨリ拔出シテ各名前ニ隨ヒ之ヲ其部ニ

記入シ一目シテ某ニ對シ何程ノ賣懸アルヲ知ラシムル  
ノ用ニ供ス

一 賣買帳 此帳簿ハ買方即仕切帳、切出帳、賣方即ケ(萬賣帳)  
ヨリ其部類ヲ蒐集シ差引ヲ爲シ對照シテ損益ヲ明ラカ  
ニスルノ便ニ供ス

一 金錢出入帳 此帳簿ハ金錢ノ出入ヲ詳カニ記ス即ケ諸  
帳簿ノ元締ナリ

一 諸方留帳 此帳簿ハ金錢出入帳ヲ根據ト爲シ金錢貸借  
ノ事由ヲ複記シ總テ受拂ノ謬リ無カラシムルヲ專ラト  
ス



一 諸方二番留帳 此帳簿ハ借主(義務者)止ヲ得サル事情アリテ急速拂入ル、能ハサル分ヲ諸方留帳ヨリ轉記スルノ用ニシテ即チ永代帳ト稱スルモノト同一ナリ

一 萬覺帖 此帖簿ハ仕拂金一切ノ中ニテ各同種類ノモノヲ蒐集シテ總勘定ノ用ニ供ス

一 總勘定帳 此帳簿ハ賣買帳萬覺帳諸方留帳諸方二番留帳ヨリ拔記シ且諸帳簿ノ顛末ヲ詳カニ記録シ商業上實際ノ景況及損益ノ勘定ヲ明カニスルノ用方ナリ

右ノ外當坐帳、賃錢帳、積日記、仕切順番帳、諸拂方帳、證文帳、集帳兩替帳、日廻帳、天心錄、等數種ノ帳簿アリト雖モ必竟補助

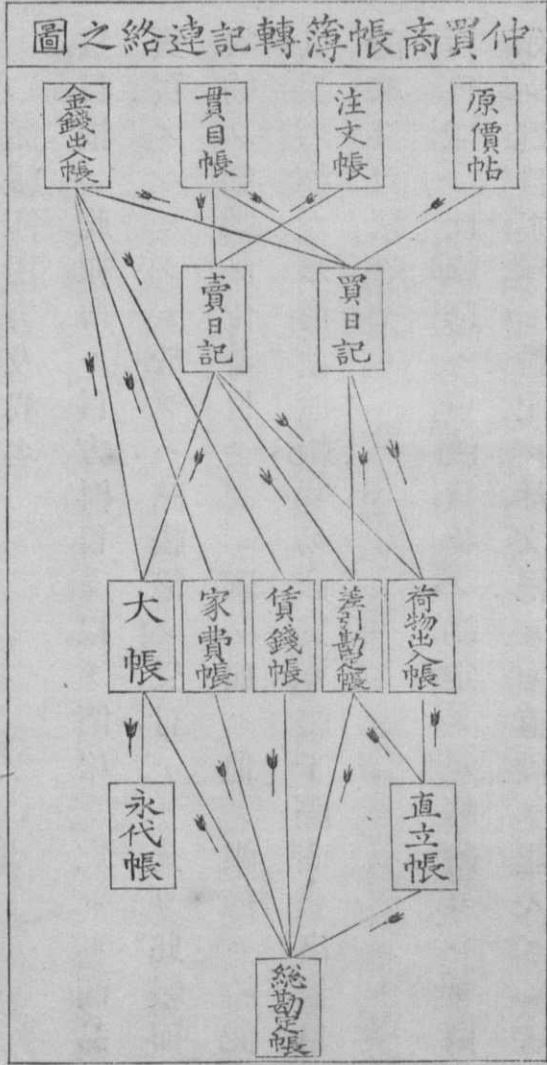
帳ニ過サルヲ以テ其用方ハ茲ニ掲ゲス

一 帳簿ノ名稱ハ商店ニ由リテ異ニスルモノアリト雖モ其書式ハ大同小異ニシテ大差アル事ナシ

一 帳簿保存ノ限期ハ其戸主ノ意見ニ因リテ一定ノ極リナシ通常十ヶ年乃至二十ヶ年ニシテ廢帳ト爲スモノ多シ然レトモ主要タル帳簿ハ永年保存スルモノトス

十七番(有馬)

○仲買商帳簿ノ事



## ○諸帳簿用方及異名

一 貫目帳 此帳簿ハ目方樹目ヲ以テ價格ヲ定ムル商品ヲ賣買スルモノニ於テハ諸帳簿ノ受付ナリ先ツ此帳面ニ貨物ノ個數品位量目ヲ記シ圖ノ如ク他ノ帳簿ニ轉記ス其異名如左(米商)瀆渡帳(貿易商)貫々帳(干鰯商)積出貫目帳 請取貫目帳等ナリ

一 賣日記 此帳簿ハ賣渡貨物ノ勘定スル帳簿ニシテ圖ノ如ク貫目帳ヨリ轉記シ注文帳ヨリ直段ヲ記入スル者トス而シテ又大牒荷物出入牒差引勘定帳へ轉記ス其異名ハ(道具商)吳服商賣上帳(干鰯商)賣帳賣渡日記或ハ當座帳

其他種々ノ名アリ各商トモ此帳簿ハ備ヘザルナシ

一 注文帳 此帳簿ハ賣渡ノ約ヲ爲セシキ其商品ノ數量代價姓名等ヲ記載シ後日船積或ハ荷物引渡ノ後賣帳ノ勘定ニ轉記ス但異名尠シ各商トモ之ヲ用フ

一 買日記 此帳簿ハ買入貨物受取後兼テ設ケアル各買入先名前ノ部分へ記載スルニ貫目帳ヨリ個數目方ヲ買入帳ヨリ買入直段ヲ轉記シテ勘定スルニ便ナラシム此帳ハ買入レノ事ニ關シテハ最モ樞要ニシテ買入先ノ決算勘定ハ總テ此帳ニテ局ヲ結ブ然レモ買入先へ賣品多キキハ大帳ニ轉記スル事モアリ其異名ハ仕入帳買入帳職

方仕入帳等ナリ

- 一 原價帳 此帳簿ハ注文帳ニ等シク買入約定ノ都度詳細ニ元價ヲ記シ買日記ニ記入スルノ用ナリ
- 一 荷物出入帳 此帳簿ハ荷物ノ出入ヲ記スルモノニテ買日記ヨリ個數ヲ記入シ同品每一口ニ纏メ此内ヨリ賣渡シタル個數ヲ賣日記ヨリ記入シテ出入ノ検査ヲ爲スニ便ナラシム且年度ノ計算期ニハ殘品ノ個數ヲ直立帳ニ轉記シ差引勘定帳ヨリ殘額ヲ記入シ總勘定帳へ再ビ記入ス其異名ハ藏入帳、有物帳、番號帳、藏々出入帳等ナリ
- 一 差引勘定帳 此帳簿ハ荷物出入帳ト其用等シキモノニ

テ損益ヲ勘定スル帳簿ナリ最初買日記ヨリ個數及代金ヲ口々ニ別記シ又賣上ケタル箇數代金ヲ賣日記ヨリ記入シテ損益ノ勘定ヲ爲シ殘品アルキハ荷物出入帳ト同シク計算ノ期ニ直立帳ニ轉記ス又損益勘定詰ハ總勘定帳へ出ス其異名ハ差引帳算用帳等ナリ

- 一 直立帳 此帳簿ハ計算期(半季或ハ一ケ年度)ニ用フル帳面ニシテ平日ハ之レヲ用ヒス荷物出入帳ヲ差引勘定帖ヨリ箇數、代價ヲ記入シ其合計ヲ有物價格高トシテ總勘定帳ニ記入ス其異名ハ有物帳勘定帳等ナリ

- 一 金錢出入帳 此帳簿ハ日々金錢ノ出入ヲ記シ且ツ金庫

ノ金員ヲ調査スルニ便ナラシム又此帳中支出ノ分ヲ查シ買日記賃錢帳家費帳大帖ノ四帳へ部ヲ分ツテ轉記ス凡テ商人タル者此帖簿ヲ供ヘザルヲナシ

一 賃錢帳 此帳簿ハ仲仕賃錢或ハ運賃等ヲ記スルモノニシテ計算期ニ至リ總勘定帳ニ轉記ス

一 家費帳 此帳簿ハ總テ家費及ビ雇人給料等ヲ登記シ計算期ニ至リ總勘定帳ニ轉記ス其異名ハ雜費牒諸雜用日記等ナリ

一 大帳 此帳簿ハ諸帳面中最モ樞要ニシテ常ニ取引ヲ爲ス先々各々其坐ヲ設ケ夫々諸帳簿ヨリ圖ノ如ク轉記ス

又利子坐、銀行坐、引方坐(登記ノ上故障ノ荷物アリテ直)其他

種々ノ坐ヲ設ケ帳簿ノ數ヲ減シ簡便ニスル等家ニ由テ差異アリト雖モ大同小異アルノミ此帳中貸付金ノ到底取立テヘキ見込ナキカ或ハ絶家セシ等ノ類ハ永代帳ニ轉記ス總勘定帳ニハ其永代帳轉記ノ金高ヲ記シ資本ノ勘定ヲナスモノトス其異名ハ大福帳、臺帳、元帳、萬留帳等ナリ

一 總勘定帳 此帳ノ要用ハ計算期ニ諸帳簿ヨリ合計殘額ヲ記入シ年度中ノ損益且資金ノ増減等ヲ知得スルモノニシテ商業者欠クベカラザルノ簿册ナリ

右之外小拂帳、當坐貸判取帳、荷物判取帳、浮貸帳、集帳、荷物預  
 り帳、目錄帳、取替帳、電報控帳、判書帳、買物帳、金錢渡帳、御客  
 名前帳、備忘録、手形帳、兩替帳等アリト雖モ總テ補助帳ニ  
 屬スヲ以テ其用ヲ記サス

○帳簿保存期限

帖簿保存期限ハ商家ニ由テ一定セス十年或ハ二十年短キ  
 モノハ五年ニテ廢帖トス然レモ原簿(大福帖ノ類)ハ成ルヘ  
 ク永年ニ保存ス

二番(丹波)

○小賣商(吳服太物商)帳簿ノ事

○買方ニ屬スル種類

一手合帳 此帖簿ノ用ハ物品買入タル際其賣主ニ物品ノ  
 個數代金等ヲ記セシムルモノトス  
 一番附帳 此帳簿ハ買入タル物品ニ番號ヲ附シ直入レヲ  
 爲ス用ニ供ス

一買留帳 買レタル物品代價ニ就キテ貸借ノ生スルキ之  
 ナ詳細ニ記載ス

○賣方ニ屬スル種類

一 賣上帳 賣捌キタル物品ノ代價個數等總テ記載スル帖簿ナリ

一 懸帳 此帳簿ハ總テ貸付タル物品代價人名等ヲ記スルモノナリ

○仕譯牒ノ種類

一 職方詵帳 商品ノ仕立或ハ色染等職方へ詵込ムモノ、模様ヲ記ス

一 仕立帳 客人注文之反物ノ裁縫或ハ染仕立等ヲ記スルノ帖簿ナリ

一 裁物帳 一反ノ太物ヲ客人ノ望ミニ應シ裁賣リセシモノ

ノヲ記スル帳面ナリ

一 注文帳 總テノ注作品及仕立帳記載ノ分トモ併セテ記スルノ帳簿ナリ

○當坐ノ部

一 見勢帳 當坐貨物品ヲ記スルノ帳簿ナリ

一 持參帳 客人ノ依頼ニ由テ持參スル商品ヲ記スル帳面ナリ

一 品渡シ帳 注文ノ物品出來上リテ客人ニ渡スルヲ記セシムルノ帳簿ナリ

一 金錢請取帳 注作品ノ出來上リテ客人ニ渡シ殘金請取

リタル事ヲ記スルノ帳面ナリ

○勘定ニ屬スル帳簿

一金錢渡シ帳

一金錢出入帳

一入費帳

一勘定帳

以上

商事慣例類集第一篇終

明治十六年七月印行